

美又まちづくりセンターの新たな取組

事業名

関係人口の拡大

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

美又地区は、市町村合併後小学校及び保育園が廃止となり、子育て世代の地区外への転出などにより少子化が顕著となってきている。こうした状況からセンター事業でも地区外からの参加を積極的に受け入れ、地域の方との交流を行うことで地域の元気につなげ、併せて地区外の応援者を増やすことで美又地区の活性化につなげることを目指している。

D

事業の概要

まちづくりセンターの単独事業として令和3年度から取組を開始しており、センター事業の地区外参加者等に呼び掛けセンターの応援者として会員登録している。

登録者には、チラシやお知らせの送付、SNSを活用するなどセンター事業への参加募集を行い、子育て世代を始め、県立大学生などの若い世代に活動へ参加してもらうことで、地域との交流により美又地区の元気につながる活動とする。

現段階では、普段からの情報発信までは取り組めていない。

対象：地区外親子、県大生、若い世代 他

C

課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

		○							
--	--	---	--	--	--	--	--	--	--

上記評価の理由

コロナ禍の影響もあり、徐々に進めている。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

先々は、まちづくり委員会との連携事業に移行し、「美又応援者」として地域の情報発信に力を入れて、地域の活性化に繋げていくことを検討したい。



8/7 竹灯籠づくり



12/11 干し大根づくり